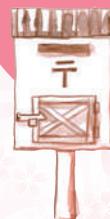


支店だより

News from branch offices



紀の里の各地域では、季節ごとに地域性を活かした、当地ならではの催し物が開かれています。今月も、各地からの話題をお伝えします。



「中晩柑・キウイフルーツのトップセールス」を開催

紀の里地域本部は1月27日、東京青果(株)の果実売場で「中晩柑・キウイフルーツのトップセールス」を行いました。

セレモニーには、紀の川市農林商工部の西部長、同地域本部の中山裕之地域本部長と「キウイフルーツ部会」の風呂谷部会長、「中晩柑部会」の殿最部会長、南副部会長、青柳副部会



長ら出席し、今が旬の紀の里産キウイフルーツと八朔の袋を来場者に手渡してPRしました。



粉河支店

年金友の会親睦旅行

1月28日～29日、「年金友の会粉河支部」の親睦旅行に117名の会員が参加し、静岡方面へ行ってきました。

1日目は小國神社やグリンピア牧之原等を訪問し、夜には焼津黒潮温泉で日頃の疲れを取り、魚料理を堪能しました。宴会ではカラオケ大会と職員参加のダンスや抽選会で大変盛り上がりしました。

2日目はロープウェイに乗って久能山東照宮への参拝やお買い物などを楽しみました。旅行中は天候に恵まれて富士山も見ることができ、最高の親睦旅行となりました。

JAで年金受け取りをいただければ誰でも参加できます。大勢の皆様の参加をお待ちしています。



那賀支店

かがやき部会那賀支部による新春研修大会

1月15日、紀の川市那賀総合センターにて「かがやき部会那賀支部新春研修大会」を開催しました。

会場では、玉入れや野菜の重量当て、防災に関する〇×クイズなどが行われ、参加した部会員が和気あいあいとした雰囲気の中、お互いの親睦を深める有意義なひとときとなりました。





桃山支店

美味しい桃は、丁寧なケアから

1月27日、桃の防除に関する勉強会を桃山支店で開催しました。

桃は、とても繊細な果実のため、害虫対策にはより多くの注意点が必要です。

当日は30人以上の生産者が参加し、安全・安心と美味しさを追求するため、各自が真剣にメモをとり、積極的に意見交換が行われました。

生産者のたゆまぬ努力によって、質の高い美味しい桃を生み出しています。

今から桃の季節が待ち遠しいです。



打田支店

新春の集い開催

1月20日、紀の川市ホール田園にて「かがやき部会 打田支部 新春の集い」を開催しました。

会場では、栗木剛氏を招いて「健康と長生き」についての講演を聴講しました。

参加した部会員は、実体験を交えてのユーモアな話を楽しそうに聞いていました。



岩出支店

新春の集いの開催

1月19日、岩出市総合体育館にて「かがやき部会岩出支部新春の集い」を開催し、会場には209人の部会員が集いました。

最初に金融営業課職員による演奏が行われ、かがやき部会のサークル(ベル、オカリナ、あゆみ、フラダンス、ストレッチ)発表や地区長らによる寸劇の披露もありました。

最後に豪華賞品が当たる大抽選会を行いました。皆さんも気の合う仲間と楽しくサークルに参加しませんか？



貴志川支店

かがやき部会 貴志川支部 新春の集い

1月27日、貴志川生涯学習センターにて「かがやき部会貴志川支部新春の集い」を開催しました。

会場には128名の部会員が集い、伊東支部長の挨拶から始まり、「mottoひょうご」事務局長の栗木剛氏の講演会やビンゴ大会で会場は大いに盛り上がりました。

部会員からは「1年の良いスタートが切れた。普段会えない仲間と会うことが出来て元気になれた」と話していました。



【組合員様専用ページを見るには】

インターネットで以下のアドレスを入力
<https://members.ja-kinosato.or.jp/>
 または
 JAわかやまホームページ▶組合員様専用ページ
 右図と同じユーザー名とパスワードを入力して
 ログインしてください。

令和8年度 栽培層例は
 ホームページからご覧になれます



野菜

温度の上昇とともに、アブラムシやアザミウマなどの発生が懸念されます。生長点や葉裏をよく観察し、早期防除に努めましょう。

また4月には露地果菜苗の定植時期になります。堆肥など土作り資材を早めに馴染ませ、畝立てマルチ・トンネル被覆し、定植前に地温を上昇させておきましょう。畝の形状により生育が大きく左右されます。排水のよいカマボコ型の高畝を成形しましょう。定植はやや浅めに行い、株元が周囲より低くならないように注意しましょう。こまめなかん水や防風により葉焼けさせないように注意しましょう。

玉葱

4月は玉ねぎの肥大期で乾燥が続く場合は小球になります。抽苔や分球は12月上旬頃の状態です。早まきや大苗など生育の前進、乾燥などストレスが原因となりますので、発生がみられる場合は栽培時期や管理を検討しましょう。

●防除

表1を参考に防除してください。べと病の発生がみられた場合、7〜10日間隔で防除する必要があります。べと病の薬剤は、紀のわ3月号を参照ください。また葉枯れ症状が生じた場合は、表2を参考に防除しましょう。

表1. 玉葱の防除例

防除時期	病害虫名	薬剤名	倍数	使用基準 (収穫前日数/回数)
4月上旬	灰色腐敗病、べと病 灰色かび病、小菌核病	シグナムWDG	1500倍	7日/3回
	ハモグリバエ類	マラソン乳剤	1000倍	7日/6回
4月中旬	アザミウマ類	ハチハチ乳剤	1000倍	前日/2回
	べと病	オロンディスウルトラSC	2000倍	前日/2回
	灰色腐敗病	ベルコート水和剤	1000倍	前日/5回

※シグナムWDGの溶かし方に注意してください。

表2. 玉葱の葉枯れ症状の殺菌剤

薬剤名	倍数	使用基準 (収穫前日数/回数)
ファンタジスタ顆粒水和剤	2000倍	前日/5回
ベルコート水和剤	1000倍	前日/5回



表3. いちご親株の防除薬剤

防除時期	病害虫名	薬剤名	倍数	使用基準 (収穫前日数/回数)
育苗期	炭疽病	ジマンダイセン水和剤	600倍	仮植栽培期 但し76日前/6回
		アントラコール顆粒水和剤	500倍	仮植栽培期/6回
		ベルコート水和剤	1000倍	育苗期(定植前)/5回

表4. 一寸そら豆の防除例

防除時期	病害虫名	薬剤名	倍数	使用基準 (収穫前日数/回数)
4月上旬～	アブラムシ類、 アザミウマ類	モスピラン顆粒水溶剤	4000倍	7日/3回
	赤色斑点病	ロブラール水和剤	1000倍	前日/3回

表5. ウスイエンドウの防除例

防除時期	病害虫名	薬剤名	倍数	使用基準 (収穫前日数/回数)
4月 中～下旬	灰色かび病	ゲッター水和剤	1500倍	前日/3回
	ナモグリバエ	ハチハチフロアブル	1000倍	前日/2回

表6. 青ネギの防除薬剤

病害虫名	薬剤名	倍数	使用基準 (収穫前日数/回数)
アザミウマ類	ディアナSC	2500~5000倍	前日/2回
	ハチハチ乳剤	1000倍	7日/2回
	アグリメック	500~1000倍	3日/3回
べと病	ファインセーブフロアブル	1000~2000倍	3日/2回
	ピシロックフロアブル	1000倍	前日/3回
	シグナムWDG	1500倍	7日/3回
	オロンディスウルトラSC	2000倍	7日/2回
	フォリオゴールド	800~1000倍	14日/3回
小菌核腐敗病	アフエットフロアブル	2000倍	前日/2回
	セイビアーフロアブル20	1000倍	前日/3回
一年生雑草	クレマートU粒剤	4~6kg/10a	定植活着後(雑草発生前) 但し定植10日後まで

表7. ジャガイモの防除薬剤

病害虫名	薬剤名	倍数	使用基準 (収穫前日数/回数)
アブラムシ、テントウダマシ	モスピラン顆粒水溶剤	2000倍	7日/3回
疫病等	ジマンダイセン水和剤	600倍	7日/10回

*疫病等の発生が見られた時には、ランマンフロアブル1000倍(7日/4回)で散布してください。

いちご

(ハウス管理)

気温の上昇に伴い、早めの換気(15℃より換気を始め最高温度20〜25℃とする)を行い、かん水は量と頻度を増やすなどの管理を行ってください。直射日光による果実温度の上昇を防止するため、30〜40%の遮光資材の被覆またはクレフノン塗布による遮光を行きましょう。

収穫は温度が上昇するまでに行い、取り遅れないように心掛けましょう。防除薬剤については、紀のわ12月号を参照してください。

(育苗管理)
 親株からのランナー発生は、まりひめは

いちご

(ハウス管理)

3月下旬より、さちのかは4月上旬頃から発生します。4月下旬から5月上旬に発生するものを使用し、それまで発生したものは摘除します。

防除については、親株では10日間隔で行い、ランナー発生後は5〜7日に1回は炭疽病中心の防除を行ってください。(表3参照)。葉かき後や風雨後には追加防除を行ってください。

いちご

開花後から収穫まで、水分要求量が大きくなりますので、乾燥時は適宜かん水するようにしましょう。

第一番莢が3〜5cmになった頃、茎の先端より10cm下で摘心します。

● 防除
暖かくなるとアブラムシが生長点に発生しやすいため、表4を参考に防除してください。

ウスイエンドウ

開花期以降、土壌が乾燥すると収量低下の原因となりますので、適宜かん水を行います。ツルが下に垂れないよう早くからこまめにビニールテープ等で誘引を行います。

● 整枝
その際収穫しやすいように花を外向きに向けましょう。

● 追肥
1週間周期で同じ株を整理するペースでこまめに行いましょう。

遅霜に注意し、3月下旬には1m当たりの立ち本数を最終20本程度に整理しましょう。

また、第一番花より下部の節位から発生するわき芽は全て摘除してください。

● 追肥

第二回目追肥として、開花期(3月中下旬頃)に高度化成(紀の里化成)403を10a当たり20kg施用してください。

※ユートップ20号を元肥に施用した場合は基本的に追肥は不要です。

● 防除

降雨後に茎葉に付着する枯れた花びらは、病害の発生源になるのでできるだけ除去しましょう。

表5を参考に防除してください。

青ねぎ

気温の上昇に伴い、徐々に害虫の発生が増えてきます。また雨が多い時にべと病や小菌核の発生が予想されるので注意してください。

● 防除、除草剤

表6を参考に防除してください。

ジャガイモ

草丈10〜15cmのとき勢いの良い芽を1〜2本残し、他の芽を株元から欠き取ってください。

また、草丈が20cmに伸びた時に高度化成(紀の里化成)403を10a当たり40kg施用し、土寄せを行ってください。

土寄せが浅い場所のイモが緑色になるので、しっかりと行いましょう。

そうか病は、萌芽期〜開花期までを乾燥させると発生を助長します。また、収穫前に乾燥した後、高温多湿になったり、窒素の残りがあると空洞イモになりますので、乾燥時のかん水・畝間の排水に心がけましょう。

● 防除

表7を参考に防除してください。

柑橘

3月は、みかんの木が冬の休眠から目覚め、新たな成長の準備を始める時期です。まだ目に見える変化は少ないですが、根の活動も活発になり始めます。

● 品種更新

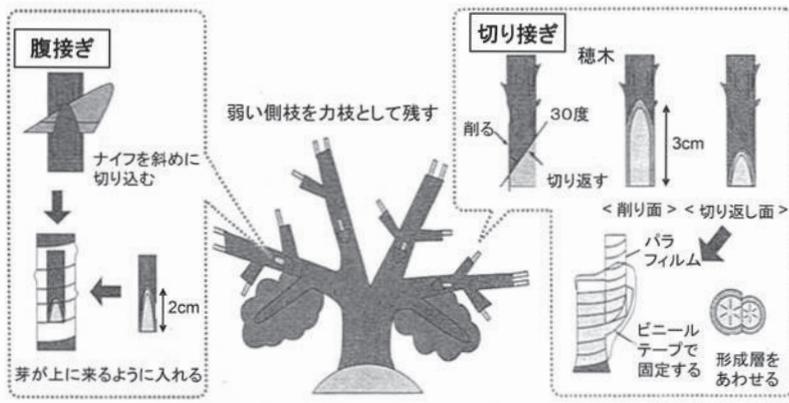
品種更新で考えなければならぬことは「適地性」と「労力配分」です。優良な品種に更新しても、不適地で栽培するとその品種が本来持つ特性を発揮できませんし、労力不足により十分な栽培管理ができない場合も同様です。

品種更新にあたっては、十分に考慮し品種特性などは営農指導員に御相談ください。

● 高接ぎ

接木の時期は、3月〜5月上旬まで可能ですが、早いほど発芽後の生育が良く、遅いほど活着率が高くなります。接木の方法は、「切り接ぎ」と「腹接

図1. 接ぎ木の方法



ぎ」の2種類ありますが、中間台の骨格を利用して接ぎ口を多くした方が根の傷みが少なく、その後の収量の回復が早くなりますので、穂木は多めに入れるようにしましょう。

- ①よく研いだ接木ナイフを用い、台木、穂木の切り口が平らで、形成層がきれいになっているか確認する。
- ②台木と穂木の形成層を合わせ、穂木が動かないようテープで固定し、穂木は乾燥しないようパラフィルムで被膜する。
- ③台木は樹勢低下を避けるため、スソ枝を力枝として残す。
- ④台木の切り口は枯れ込みを防止するため、たぬき癒合剤を塗りアルミホイルで覆う。

● 苗木の植え付け

先月号でもありましたが、接ぎ木部は、地上に出して植え、主枝候補枝をしっかりと伸ばすために、弱い春芽や秋芽は切り落とし充実した夏芽まで切り返しましょう。発芽後は、新芽が複数発生している場合は1本に芽かきをして、展葉後、充実をはかる為に6〜7芽で摘芯を行います。

また、アブラムシやハモグリガ(エカキムシ)の防除を行ないましょう。せっかく植えた苗木を枯らさない様に、かん水を行なうなど十分な管理をしてください。

● そうか病防除

近年そうか病の発生園地が見られます。4月上旬(新芽の発芽直後)にデランフロアブル1000倍(30日/3回)を散布してください。

なお、かぶれやすい方は、ナティーポフロアブル1500倍(前日/3回)を使用してください。

落葉果樹

気温も高くなり、下旬からは桃やスモモが開花を迎え、柿なども発芽が始まる時期となります。開花前や落弁期などの防除を行うとともに、これから発芽してくる柿などでは園内環境の整備に努めましょう。

桃

人工授粉では、採取した花粉を人工的に授粉させるため、手間はかかりますが着果量を安定させることができます。多くの桃は、花粉を持っており自家受粉するのですが、中には花粉量が少ない品種・花粉を持たない品種もあります。これらの品種は、実をつけるために他の品

表1. 今月の防除・施肥例

品目	時期	対象病害虫	薬剤名	倍数	使用基準 (収穫前日数/回数)
梅	4月上旬 (発芽期)	(展着剤) 黒星病 かいよう病 カイガラムシ類	アピオン-E	1000倍	-/-
			デランフロアブル	2000倍	14日/2回
			マイコシールド	1500倍	21日/4回
スモモ	4月上旬 (満開後)	アブラムシ類 ケムシ類 黒斑病 灰星病	オリオン水和剤40	1000倍	7日/3回
			マイコシールド	2000倍	21日/3回
			ベルコート水和剤	2000倍	3日/3回
桃	3月下旬 (開花直前)	(展着剤) せん孔細菌病	アピオン-E	1000倍	-/-
			ICボルドー66D	50倍	-/-
			4月中下旬 (落弁期)	(展着剤) せん孔細菌病 灰星病・黒星病・ うどんこ病 アブラムシ類・ ケムシ類	ネオエステリン
柿	3月下旬 (萌芽直前)	(展着剤) カイガラムシ類 幼虫	アピオン-E	1000倍	-/-
			アプロード水和剤	1000倍	開花期迄/2回
			4月中下旬 (展葉期)	ケムシ類・ ヒメコスカシバ フタモンマダラ メイガ	フェニックスフロアブル
いちじく	4月上旬	ネコブセンチュウ	ネマトリンエース粒剤	10a当り 20kg	60日/1回 樹冠下処理
ぶどう 大粒露地	3月下旬 (催芽期)	(展着剤) ハダニ類 晚腐病 黒とう病	ネオエステリン	5000倍	-/-
			石灰硫黄合剤	10倍	発芽前/-
			ベンレート水和剤	500倍	休眠期/1回
梨	3月下旬 (発芽直前)	(展着剤) 黒星病	アピオン-E	1000倍	-/-
			トレノックスフロアブル	500倍	30日/5回
			4月上旬 (開花直前)	(展着剤) アブラムシ類 赤星病 黒星病	アピオン-E
			モスピラン顆粒水溶剤	2000倍	前日/3回
			デランフロアブル	1000倍	60日/4回

種の花粉を受粉する必要があります。
※人工授粉の必要な品種
・花粉量が少ない品種…桃山白鳳・
日川白鳳
・花粉を持たない品種…川中島白桃
……
ネコブセンチュウ対策のネマトリンエース
粒剤の施用時期となります。センチュウ
と薬剤が接触して効果を高めるため、施
用後はかん水を行います。
また、新梢が伸びる時期となりますの
で、乾燥が続く場合はかん水を行い、生
育を揃えましょう。

ぶどう大粒(露地)
●芽かき
新梢を整理し、揃った芽を残すことで
今後のジベレリン処理や房作りなどの作
業が楽になります。葉が2〜3枚展葉し
た時期に1回目、5〜6枚展葉した時期
に2回目の芽かきを行います。
梨
4月が黒星病の最重要防除時期とな
ります。多発園では14日以上防除間隔を
あけないようにするとともに、雨が多い場
合は別途防除を行うようにしましょう。

花
ハウス栽培の場合は露地栽培にくらべ
株の弱りが早いので、切り本数を少なめ
にして最低10本程度は残すようにして
ください。
しゃくやく
露地栽培での、萌芽も始まり茎葉伸長
期となっています。この時期の茎葉は軟弱
ですので、倒伏や病害虫には十分注意し
てください。

●病害虫防除
灰色かび病防除のため
緑化期1週間前にはかん
水を控え気味にしましよ
う。発生時はバレード20フ
ロアブル2000倍又はシゲナム
WDG1500倍を農薬が乾く
時間帯に散布しておきま
しょう。(紀のわ3月号参
照)
※緑化期は葉害に注意。
※葉斑が付かないよう展
着剤スカッシュ1000倍または
ドライバー2000倍を加用。
●倒伏防止
強風により揺すられる
と樹勢が弱まりますので
畝の両端にテープ等を張
り倒伏を防ぎましょう。
特に滝沢赤・富士・ポー
ラフェイ等は茎が軟弱なの
で注意しましょう。
●芽の整理
草丈が30〜40cm程度
の頃、1株当たり25本程度
に整理してください。

また、遅れて出た芽は灰色かび病の原
因となりますのでこまめに除去するよう
にしましょう。
●摘蕾
側蕾の除去を適宜行ってください。頂
蕾も出荷できないような奇形花は除去
し、株養成のために残す茎葉としてくだ
さい(株当り10本目安)
ひまわり
播種は15cm角のネットで一目に2粒播
きます。播種量は、10a当たり約55,
000粒程度が必要です。
発芽を揃えるために、土壌が乾燥して
いる場合は、播種前にかん水を行ってくだ
さい。土壌水分を保つことで発芽が揃いや
すくなります。生育のムラをなくすこと
で秀品率が良くなります。
発芽適温は26℃と高く、低温期に播く
場合は、発芽してくるまで畝にポリフィル
ムをかけます。なお、35℃以上になると
発芽率が低下する恐れがあります。
早生品種を低温期に播種すると草丈
が低くなりすぎることがあるので注意し
てください。



Topics News

購買

空き家解体について

古くなった倉庫や空き家について、解体作業の請負を行っています。固定資産税の通知書がまもなく届く時期となります。放置してある空き家の管理について解体見積もりからお気軽にご相談ください。各購買窓口にご連絡いただければ、JA指定業者より対応いたします。



営農

無料職業紹介所について

紀の里地域本部では農作業のアルバイトを探している生産者のために、無料職業紹介所を開設しています。希望する生産者は求人票に仕事内容・期間・日数・時給等を記入してお申し込みいただくと、無料でWEBサイト上の求人募集へ掲載させていただきます。応募があれば生産者に紹介・面接を行い、採用・不採用を決めていただきます。

お申し込みや、詳しい内容が知りたい方は営農センター営農支援課までお問い合わせください。



TEL:0736-77-0810

総務

「愛をコメて」プロジェクト

JAわかやま紀の里地域本部は1月29日、「愛をコメて」と題して「フードバンク和歌山」へお米を寄贈しました。

このプロジェクトは、SDGsの取り組みの一環で、生活困窮者などに食料を無償で提供する活動を行う「フードバンク和歌山」を応援しようとJAわかやま全体で実施しています。

紀の里地域本部では、全役職員とかがやき部会役員から集まったお米(計1合×298袋)を鈴木事務局長に寄贈しました。



金融

JAバンク 年金振込のご案内!!

販売

選果結果配信 メールアドレスの変更について

平素より部会活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。下記センターの選果結果配信メールアドレスが、令和8年2月より変更となりました。

お手数をおかけしますが、登録内容のご確認・ご対応をお願いいたします。

- 新メールアドレス
- ・東部流通センター
t.ryutu-c@eos.ocn.ne.jp
- ・西部流通センター
s.ryutu-c@eos.ocn.ne.jp

今後ともよろしく願い申し上げます。